



2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社タウンズ 上場取引所 東

コード番号 197A URL <https://www.tauns.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中 雅貴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 内山 義雄 TEL 055 (953) 9590

半期報告書提出予定日 2026年2月13日 配当支払開始予定日 2026年3月13日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	8,276	△30.9	3,252	△50.3	3,146	△51.8	2,060	△56.0
2025年6月期中間期	11,981	—	6,538	—	6,525	—	4,686	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年6月期中間期	円 銭 19.87	円 銭 19.18
2025年6月期中間期	46.39	43.75

(注) 2024年6月期中間期においては、中間財務諸表を作成していないため、2025年6月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年6月期中間期	百万円 44,198	百万円 17,405	% 39.4
2025年6月期	36,515	17,417	47.7

(参考) 自己資本 2026年6月期中間期 17,404百万円 2025年6月期 17,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	円 銭
2025年6月期	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 —	円 銭 22.00	円 銭 28.00	
2026年6月期	—	14.00	—	—	—	
2026年6月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年6月期末配当金には、設立記念配当10円が含まれております。

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,769	11.5	8,323	0.7	8,143	△0.9	8,613	36.4	84.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年6月期中間期	106,404,149株	2025年6月期	102,992,370株
2026年6月期中間期	一株	2025年6月期	一株
2026年6月期中間期	103,709,974株	2025年6月期中間期	101,022,279株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（2025年7月1日～2025年12月31日）における体外診断用医薬品業界の事業環境につきましては、2025年8月前半をピークとする新型コロナウイルス感染症の第13波が到来、その後、例年より早い9月下旬からインフルエンザが流行入りし、そのインフルエンザの流行が期中続いた、という状況にありました。一方で、前期の流行期に卸売業者が確保した抗原検査キットの市中庫の消化局面が9月末頃まで継続したことが、当中間期の売上高を押し下げる要因となりました。他方、9月下旬からのインフルエンザの流行などにより、当第2四半期の四半期売上高は第2四半期としては過去最高を更新しました。

この結果、当中間会計期間の売上高は8,276百万円（前年同期比30.9%減）、営業利益は3,252百万円（同50.3%減）、経常利益は3,146百万円（同51.8%減）、中間純利益は2,060百万円（同56.0%減）となりました。

<四半期売上高推移>（百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
24年6月期	6,943	4,673	4,754	2,063	18,434
25年6月期	6,419	5,561	5,626	1,020	18,627
26年6月期	2,368	5,908	—	—	—

四半期売上高推移につきましては、当第2四半期は、例年より早い9月下旬からのインフルエンザの流行、および、新型コロナウイルスの流行が一定程度続いたことにより、当第2四半期の四半期売上高は、前年同期比6.2%増の5,908百万円となりました。

<中間期 P/L>（百万円）

	24年6月期 中間期	25年6月期 中間期	26年6月期 中間期	前年 同期比
売上高	11,617	11,981	8,276	△30.9%
(内、自治体向け売上)	159	—	—	—
売上総利益	7,932	8,720	5,630	△35.4%
売上総利益率（%）	68.3%	72.8%	68.0%	△4.8%
営業利益	5,854	6,538	3,252	△50.3%
営業利益率（%）	50.4%	54.6%	39.3%	△15.3%
経常利益	5,877	6,525	3,146	△51.8%
経常利益率（%）	50.6%	54.5%	38.0%	△16.4%
中間純利益	4,219	4,686	2,060	△56.0%
中間純利益率（%）	36.3%	39.1%	24.9%	△14.2%

当中間期における損益につきましては、売上高の減少により、営業利益、経常利益、四半期純利益とともに減益となりました。

<四半期期間（10～12月）P/L>（百万円）

	24年6月期	25年6月期	26年6月期	前年 同期比
売上高	4,673	5,561	5,908	6.2%
(内、自治体向け売上)	—	—	—	—
売上総利益	3,129	3,910	4,000	2.3%
売上総利益率（%）	67.0%	70.3%	67.7%	△2.6%
営業利益	2,108	2,793	2,704	△3.2%
営業利益率（%）	45.1%	50.2%	45.8%	△4.4%
経常利益	2,136	2,771	2,641	△4.7%
経常利益率（%）	45.7%	49.8%	44.7%	△5.1%
四半期純利益	1,534	1,990	1,702	△14.4%
四半期純利益率（%）	32.8%	35.8%	28.8%	△7.0%

当第2四半期における損益につきましては、新工場の本格稼働前の要員の先行確保による労務費の増加等があつたものの、売上総利益は前年同期比2.3%増の4,000百万円を確保しました。一方で、運送費の高騰や体制強化のための人件費の増加、加えて、新工場稼働準備のための先行経費の支出等により、販売管理費が前年同期比で195百万

円増加し、営業利益は前年同期比3.2%減の2,704百万円となりました。新工場建設のための借入金増加に伴う支払利息の増加により、経常利益は前年同期比4.7%減の2,641百万円となりました。また、特別損失として関係会社株式評価損241百万円を計上しており、結果として、四半期純利益は前年同期比14.4%減の1,702百万円となりました。

<中間期 主要製品別売上高 > (百万円)

主要製品別売上高	24年6月期 中間期	25年6月期 中間期	26年6月期 中間期	前年 同期比
新型コロナ単品検査キット	3,043	3,945	2,191	△44.5%
新型コロナ/インフル エンザコンボ検査キット	4,210	4,579	3,366	△26.5%
インフルエンザ検査キット	2,689	2,080	1,598	△23.2%
その他	1,674	1,375	1,120	△18.5%
合計	11,617	11,981	8,276	△30.9%

当中間期における主要製品別の売上高につきましては、前年度からの市中庫の消化局面が9月末頃まで継続したことなどから、主要製品の売上高はいずれも前年同期を下回る結果となりました。

<四半期期間 (10-12月) 主要製品別売上高 > (百万円)

主要製品別売上高	24年6月期	25年6月期	26年6月期	前年 同期比
新型コロナ単品検査キット	668	661	961	45.5%
新型コロナ/インフル エンザコンボ検査キット	1,730	2,565	2,992	16.6%
インフルエンザ検査キット	1,402	1,679	1,418	△15.6%
その他	871	654	536	△18.2%
合計	4,673	5,561	5,908	6.2%

当第2四半期における主要製品別の売上高につきましては、例年より早い9月下旬からインフルエンザの流行が始まったこと、および、新型コロナウイルスの流行が一定程度続いたことにより、新型コロナ単品検査キットの売上高は前年同期比45.5%増の961百万円、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上高は前年同期比16.6%増の2,992百万円となりました。一方で、インフルエンザ検査キットの売上高は、前年同期の売上高が市中庫の急増に伴い高水準となっていた反動により、前年同期比15.6%減の1,418百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ7,683百万円増加し、44,198百万円となりました。これは主に、当第2四半期の売上高が伸長したことに伴う売掛金の増加に加え、新工場建設関連で生じた建設仮勘定の増加によるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ7,695百万円増加し、26,792百万円となりました。これは主に、金融機関から新工場建設に関する、シンジケートローンの借入枠を実行したことによる長期借入金の増加によるものです。

純資産合計は、前事業年度末に比べ11百万円減少し17,405百万円となりました。これは主に、中間純利益が増加したもの、配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ5,011百万円減少し、4,255百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金は、5,507百万円減少（前中間会計期間は1,093百万円増加）となりました。これは主に、売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金は、5,163百万円減少（前中間会計期間は4,664百万円減少）となりました。これは主に、新工場建設に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金は、5,659百万円増加（前中間会計期間は1,718百万円増加）となりました。これは主に、新工場建設に関するシンジケートローンの借入枠を実行したことによる収入によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期業績予想につきましては、当中間期の売上高は前年同期を下回ったものの、当第2四半期の四半期売上高は第2四半期として過去最高を更新しており、また、足元ではインフルエンザや新型コロナウイルスの流行が続いていることから、現時点では、2025年8月13日に公表しました業績予想のまま据え置いております。

今後、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当中間会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,266,630	4,255,218
売掛金	247,777	7,207,360
商品及び製品	3,043,200	3,598,673
仕掛品	1,515,674	1,592,755
原材料及び貯蔵品	1,324,652	1,241,491
その他	78,670	1,012,603
流動資産合計	15,476,605	18,908,103
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	8,213,450	11,402,488
その他（純額）	4,065,762	4,121,922
有形固定資産合計	12,279,213	15,524,410
無形固定資産		
顧客関連資産	2,499,200	2,385,600
技術関連資産	596,800	547,066
その他	740,768	857,566
無形固定資産合計	3,836,768	3,790,233
投資その他の資産		
投資有価証券	4,177,271	5,404,490
その他	745,435	571,389
投資その他の資産合計	4,922,707	5,975,879
固定資産合計	21,038,688	25,290,523
資産合計	36,515,294	44,198,627

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当中間会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,199,041	1,068,579
短期借入金	4,500,000	7,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,114,919	1,783,168
未払法人税等	842,289	898,854
賞与引当金	153,612	66,656
役員賞与引当金	17,791	—
その他	1,702,221	1,831,673
流動負債合計	9,529,874	13,148,932
固定負債		
長期借入金	8,809,081	12,868,088
繰延税金負債	556,304	555,985
退職給付引当金	190,363	207,646
資産除去債務	12,000	12,000
固定負債合計	9,567,749	13,643,720
負債合計	19,097,624	26,792,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	289,771	392,124
新株式申込証拠金	7,913	903
資本剰余金	2,773,071	2,875,424
利益剰余金	14,307,551	14,102,290
株主資本合計	17,378,307	17,370,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,452	33,734
評価・換算差額等合計	34,452	33,734
新株予約権	4,910	1,497
純資産合計	17,417,670	17,405,974
負債純資産合計	36,515,294	44,198,627

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	11,981,022	8,276,583
売上原価	3,260,118	2,645,944
売上総利益	8,720,904	5,630,638
販売費及び一般管理費	2,182,426	2,378,367
営業利益	6,538,477	3,252,271
営業外収益		
受取利息	1,977	9,217
受取配当金	110	126
補助金収入	16,828	—
その他	1,737	893
営業外収益合計	20,654	10,237
営業外費用		
支払利息	33,515	111,948
その他	472	3,890
営業外費用合計	33,987	115,838
経常利益	6,525,144	3,146,669
特別利益		
固定資産売却益	1,448	855
新株予約権戻入益	3	2
特別利益合計	1,451	857
特別損失		
関係会社株式評価損	—	241,404
特別損失合計	—	241,404
税引前中間純利益	6,526,596	2,906,123
法人税等	1,839,720	845,552
中間純利益	4,686,875	2,060,571

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	6,526,596	2,906,123
減価償却費	350,096	389,072
賞与引当金の増減額（△は減少）	△311,735	△86,955
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△27,991	△17,791
返金負債の増減額（△は減少）	865,186	442,594
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,641	17,282
受取利息及び受取配当金	△2,088	△9,343
補助金収入	△16,828	—
新株予約権戻入益	△3	△2
支払利息	33,515	111,948
固定資産除売却損益（△は益）	△1,448	△855
関係会社株式評価損	—	241,404
売上債権の増減額（△は増加）	△4,086,245	△6,959,583
棚卸資産の増減額（△は増加）	△286,261	△549,393
仕入債務の増減額（△は減少）	△134,285	△130,461
未払消費税等の増減額（△は減少）	△264,254	△101,869
その他	147,970	△812,507
小計	2,797,863	△4,560,337
利息及び配当金の受取額	929	8,183
利息の支払額	△31,840	△111,948
補助金の受取額	16,828	—
法人税等の支払額	△1,690,003	△843,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,093,775	△5,507,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,118,389	△3,635,404
有形固定資産の売却による収入	1,859	1,640
無形固定資産の取得による支出	△281,661	△193,008
投資有価証券の取得による支出	△129,826	△1,228,256
関係会社株式の取得による支出	—	△76,000
関係会社貸付けによる支出	—	△32,000
従業員に対する貸付けによる支出	△136,069	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,664,086	△5,163,027
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	3,000,000
長期借入れによる収入	4,142,000	5,393,000
長期借入金の返済による支出	△366,000	△665,744
新株予約権の行使による株式の発行による収入	113,495	194,284
配当金の支払額	△2,170,637	△2,262,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,718,857	5,659,259
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,851,452	△5,011,411
現金及び現金同等物の期首残高	9,424,891	9,266,630
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,573,438	4,255,218

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自2024年7月1日 至2024年12月31日）

当社は、体外診断用医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自2025年7月1日 至2025年12月31日）

当社は、体外診断用医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。